

令和3年室蘭市社会教育委員の会第6回定例会会議録（要旨）	
日 時	令和3年12月23日（木） 10時00分～11時20分
場 所	環境科学館・図書館多目的室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、大須賀委員、小野委員、後藤委員、中村委員
欠席委員	石井委員、大平委員、佐野委員
事務局	國枝教育長、伊藤部長、西舘次長、佐々木主幹、佐藤主幹、伏見館長、谷中主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和3年第4回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 環境科学館・図書館は大変魅力ある施設。子どもだけでなく大人も何度も来たいと思わせる内容である。修学旅行等、市外からの利用も歓迎するが、いかに多くの市民に利用してもらうかが大切だと考えるので、市民が何度も来なくなる工夫をしてほしい。

また、新体育館に関連して、市内でスポーツをしたい障がい者のニーズは把握しているか。今夏のオリ・パラで障がい者スポーツの需要は増えると考えるが、障がい者を受け入れる社会体育施設はどうなるのか。施設は集約する傾向にあるが、市民ニーズと逆行しないのか。

環境科学館のプラネタリウムを1回観ることは、小学生が5時間分の単元を学ぶのに匹敵する。学校の先生に観てもらい、授業に取り入れてもらうようにしてはどうか。

（事務局） 環境科学館・図書館については、指定管理者と連携して、市民が何度もご利用頂けるような工夫を行っていく。

市内の障がい者スポーツへのニーズは、あまり多くない事が判明した。

プラネタリウムについては、既に市内小中学校の学校関係者に環境科学館・図書館を見学頂いたところであり、バスで校外に移動して学習する際など、学校の授業での利用も検討いただきたいと考えている。

（B委員） 学校等の利用が多くあることを願っている。

【日程2】

報告第2号 公の施設における指定管理者の指定について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（C委員） 文化センターの指定管理者が決まったが、今後文化センターが無くなるという話を聞いた。指定管理期間終了後に廃止となるのか。

（事務局） 第4回市議会定例会で、行革担当課が文化センターを含む公共施設適正化の検討に入る旨を報告し、新聞報道されたのでご存知の委員もいらっしゃると

思うが、施設の耐震・耐久性、市内や西胆振管内に代替となる施設があるか、改修して使用する場合の予算規模など、これから庁内で論議して、決めていく。

(B委員) 社会教育施設に関することは、都度、社会教育委員の会の意見を聞いて進めていただきたい。

【日程3】

報告第3号 むろらん生涯学習情報について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 生涯学習活動に自主的に取り組む人たちや団体、サークルが網羅されている。教育委員会には、生涯学習団体に対する精神的支援により、団体・サークルを育てていただきたい。

【日程4】

報告第4号 令和4年1月・2月の行事予定について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(B委員) 環境科学館・図書館オープン後、社会教育の行事が増えることは喜ばしい。行事について特に委員の意見は無いようだが、環境科学館・図書館を視察した感想などあれば伺いたい。

(D委員) プラネタリウムの機器が新しくなり、図書館も本の表紙が見えるように飾るなど手に取りやすく、使いやすい施設になったと感じたが、カードでの検索なれているので、本の分類や端末機の場所などわかりにくかった。

(事務局) 図書館の分類は、これから一般書の精査をしたい。館内配置については、図書館入口付近に館内マップを掲示しており、図書館検索用端末機(OPAC)は、一般書スペースに2台、児童書スペースに1台設置している。

(B委員) 自習室の利用時間を90分単位で区切ると聞いたが、中高生が勉強で利用する際、90分で足りないのではと思った。また、本を閲覧したい人と勉強したい学生のニーズとをうまく調整していただきたい。

【日程5】

その他 (1) 令和4年社会教育委員の会日程予定

(2) 令和4年度北海道社会教育委員連絡協議会について

(3) 令和3年度北海道市町村社会教育委員長等研修会資料について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(C委員) 来年度、胆振管内社会教育委員連絡協議会の事務局が室蘭市になるので、各委員においては、関連事業の際は参加協力いただきたい。

次回開催日 令和4年2月17日(木)